

支援する会ニュース

2022. 5. 19 NO. 81

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

逃げるな和田会長、出てこい高橋社長！！

5月12日に第80回木曜行動がのべ95人の参加で行われました。5月10日は尾澤さんの不当逮捕から1年になる日でした。尾澤さんは東京事務所前行動に参加し、サンケン闘争と裁判闘争に勝利しようと訴えました。韓国では5月初旬に組合員全員会議で株主総会(6・24)に向けてサンケンコアとLG本社に集中的に取り組むことを決めました。5月17日には大阪支店抗議行動も取り組まれました。以下は木曜行動の報告です。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からイジョンヒさんが「サンケン電気の経営陣に問いたい。なぜ一方的に韓国サンケンを廃業したのか。労組があるのに話し合いもなく勝手に工場を閉鎖したのか。韓国サンケンに累積赤字があったからと言うが、本質はそこにはない。韓国でのサンケン電気の売上は、昨年の決算書を見ても220億円あると報告されている。12人の雇用がなぜ保障できないのか。これだけ見ても偽装廃業が明らかだ。私たちは廃業をとっても受け入れ難いのでテント籠城を続けている。サンケン電気は私たちを無視しているが、決して諦めない。5月初旬に全員で話し合い、闘う決意を固めた」と訴えました。韓国からはペクウンジュさん、キムウニョンさんもアピール。練馬ユニオン、埼玉市民の会の挨拶後、シュプレヒコールで志木駅へ。

りました。韓国からはペクウンジュさん、オヘジンさんもアピールしました。ノレの会『明日を信じて』、ゆいの会『アリラン』、女闘労倶楽部『若者たち』(写真左下)、明大生協労組の発言で行動終了。

〔池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表の挨拶でスタート。韓国からオヘジンさんが「600日以上も話し合いに応じていない。累積赤字とコロナを廃業の理由としているが、本質は経営の失敗が招いたことだ。サンケン電気は高い企業倫理を掲げているが、すべて嘘だ。グローバル企業と同じように、権力と繋がり労組を弾圧している。サンケン電気を真似しているダイセルという日系企業がある。6月30日に閉鎖することを発表した。赤字で経営困難だという。再投資無くして黒字転換はありえない。韓国サンケンと同じだ。ダイセルは、明らかにサンケン電気を真似している。サンケン電気は悪質企業の見本として歴史に残る」と訴えました。尾澤孝司さんが「サンケン電気・検察一体で事件を単なる『暴力事件』に矮小化し、背景にある労働争議の本質を隠蔽しようとしている。現場の闘いと裁判闘争を一体のものとして闘う。サンケン電気に謝罪させ、裁判にも韓国サンケンの争議にも勝利する！」とアピール。埼玉市民の会、尾澤邦子さん、全労働者組合、韓青同、中部労組、京浜ユニオン(写真上)。怒りのシュプレヒコールで終了しました。



〔志木駅南口前〕

埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からキムウニョンさんが、食い逃げ日系企業との闘いを振り返りながら「韓国の労働者は真っ暗で長いトンネルの中にいて闘いを繰り返している。30年以上も日本の連帯闘争がある。日本のみなさんの連帯は、長いトンネルの中にいる韓国の労働者に力と勇気を与えてくれた。夜道を一人で歩くのは恐ろしく怖い。しかし友人知人が一緒にいれば勇気が湧いてくる。みなさんの連帯も同じだ」と日韓連帯の大切さを語



尾澤裁判の勝利に向けて

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。次回の公判前手続は6月6日の予定です。いよいよ初公判日の確定が近づいています。署名活動は支援する会までご連絡下さい。